

ホテルで就寝中の深夜に突然警報ベルが鳴ったらどうするか？

こんなときホテルからの緊急避難にも宿泊客の国民性とお国柄が表れる。20年ほど前、あるアメリカ西海岸のホテルでボヤに遭った。けたたましいベルに驚き飛び起きたが、事態を呑み込むまでには、若干時間がかかった。添乗員だった私は、旅客をたたき起こし、旅券とお金だけを持って、非常階段からすぐ避難するよう急がせた。幸い全員が外へ避難して、私たちはそのホテルの前で、その後の避難行動と消化作業を固唾を飲んで見守っていた。ふと螺旋状の非常階段を見上げると、そこには逃れようとする宿泊客がひとかたまりになっていた。前の人がつかえて思うように下へ降りられないのだ。着のみ着のままの宿泊客の群れの遙か先の下り階段では、なんと背広を着た二人の日本人客が大きなトランクを持って必死に出口へ向かっていた。彼らの大きな荷物が邪魔になって脱出ルートをふさぎ、降りられない状況になっていた。ヤジ馬のブーイングの中をようやく一階までたどり着いた日本人客の後から、裸足でガウンを羽織っただけの白人客がぞろぞろ降りてきた。

この修羅場でもわが同胞は、身の回りの私物が気になって、他人を危機に陥れていることには一向に気がつかないのである。こんな場合、あなたならどうする？

とにかく、ショックと興奮で普段の自分でないことだけは確かだ。大きなことは言えない。私だって無我夢中で靴こそ履いていたが、見れば靴下は履いてはいなかったからだ。